

まきびと カルデアの牧人 ～校長だより～ No.7

手を取りていざ(織部祭)

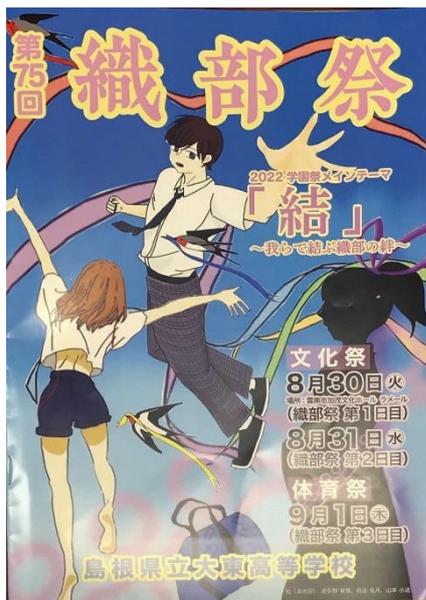
1年間の中で最大の生徒会行事である「織部祭(学園祭)」がいよいよ明日から3日間開催されます。今回は織部祭のパンフレット巻頭言の文章をそのまま掲載します。

初日は雲南市加茂文化ホール ラメール、2日目本校、最終日は体育祭です。体育祭当日の空模様が気になるところですが、生徒の熱気で前線を押し返してほしいものです。

手を取りていざ

「結(ゆい)」とは田植えなどの時に互いに力を貸しあうこと。またその人(『広辞苑』より)

元々「結い」とは農作業などで一時的に大きな労働力が必要になった時に無報酬で共同作業を行うこと、あるいはその相互扶助の組織を表す言葉であり、岐阜白川郷の合掌造りの屋根葺き替え作業での「結い」が有名である。今年の織部祭テーマはこの「結」。まさに大東高生の力を結集して高校での一大イベントを成功させようという意気込みが伝わってくる。



織部祭は「学びの場」であり、「チャレンジの場」でもある。3日間の織部祭の内容は実に多彩。そのどこかに必ず自分の力を発揮できる場所、煌めく瞬間があるはずである。その時ばかりは臆することなく、前のめりで突き進もう。

返らぬ夢ときくなれば 手を取りていざ共に哭け
(校歌二番)

青春のこの濃密な瞬間は二度と返っては来ない。帰らぬ夢であればこそ今この瞬間を仲間と手を取り合い、共に哭き、互いの胸に刻み込もうではないか。